

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	農業用水再編対策事業 太田地区			事業コード	2954
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	金沢隆	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 5目 農業基盤整備事業(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (22年度 ~ 28年度)					
事務事業の概要	県営事業で整備した用排水施設が老朽化により機能低下していることから、県が事業主体となり当該事業により用排水施設を改修し、機能回復を図るもので、市は事業費を一部負担するもの。					
根拠法令等	土地改良法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
用排水施設の老朽化に伴う損傷により、施設自体の維持管理や通水管理に支障を来すようになってきたことから、改良区から施設改修支援を求められていた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
改良区及び受益者から、損傷の激しい用排水施設の改修により施設維持管理費の抑制や地域用水機能の維持・増進に寄与することが期待されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
今までの土地改良事業は施設整備中心だったが、現在は整備された施設の維持管理事業が中心になりつつあり、その傾向は今後も続くものと思われることから、当該事業の重要性は今後益々高まっていくものと思われる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	受益地	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 受益面積	単位	ha
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 地区協議会参加、負担金の支出 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 地区協議会参加、負担金の支出	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 地区協議会参加	単位	回
				B. 負担金支出件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	老朽化した施設を改修・補修し、施設維持管理費を抑制するとともに地域用水機能を維持、増進する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 施設改修延長 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	m
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha) 畑地面積(単位:ha) 樹園地面積(単位:ha) 民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	受益面積	ha	0	0	446	446	446	446	28年度 446
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	地区協議会参加	回	0	0	5	5	4	4	28年度
活動 指標B	負担金支出件数	件	0	0	2	2	4	4	28年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	施設改修延長	m	0	0	0	0	826	2751	28年度 13515
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円			5,563	9,963	12,500	29,826	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円			4,800	9,200	10,800	26,400	*****
	⑦一般財源	千円	0	0	763	763	1,700	3,426	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円			5,563	9,963	12,500	29,826	*****
	延べ業務時間数	時間			100	100	100	100	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	0	0	400	400	400	400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	5,963	10,363	12,900	30,226	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由：施設を改修することにより施設の機能を維持し、施設維持管理費も抑制されることから、農業生産性が向上する。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由： ↳「妥当」とする理由： <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由： ↳「妥当」とする理由： <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由： ↳「妥当」とする理由： <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由：当該事業は土地改良法に則って受益者から実施内容や事業予算等について同意を得て行う事業であり、事業実施の基本となる計画は現段階で最も成果の上がる計画となっている。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容：施設の老朽化や損傷の程度が進むことで施設維持管理費用が高んでしまい、農業生産性が低下する。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名： ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由：現段階では最も成果の上がる計画に基づいて事業実施している。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由：事業実施に伴う協議会参加や地元調整、負担金の支出事務という最低限度必要なものであり、削減の余地はない。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由：当該事業の受益地は地区内の農用地を網羅しており受益機会は公平である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由：受益者は改良区を通じて受益面積割で費用負担しており公平である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 特になし ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 特になし
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点)
今後 の 方向 性 と 改 革 改 善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </div>	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 安定的な農業生産を維持するためには、築造後30年以上を経過した用排水施設の改修等は必要であることから、継続する。		